

高島徳松
田沼起八郎
陶磁器試験所
長江明治
沼田一雅
イサム・ノグチ
藤井達吉
馬淵利貞
水野寿山
水野双鶴
矢野剛文

愛知県立陶磁器学校
大江文象
加藤逸郎
加藤英一
加藤華仙
加藤純一
加藤五平
加藤作助
加藤寿山
加藤千一
加藤龍川
加藤 肇
加藤清九郎
加藤土御前



愛知県陶磁美術館開館40周年記念企画展

瀬戸陶芸の黎明

— 創作の源流を辿って —

The Dawn of Seto Ceramics - Explore the origin of creating

2018 4/14.土 >>> 6/17.日 愛知県陶磁美術館 本館 第1・第2展示室

40th 愛知県陶磁美術館
平成30年度は開館40周年



愛知県陶磁美術館
セラミウム AICHI PREFECTURAL CERAMIC MUSEUM
〒489-0965 愛知県瀬戸市青山口町234
TEL 0561-64-1474 FAX 0561-64-4032 http://www.pref.aichi.jp/museum

開館時間：午前9時30分～午後4時30分(入館は午後4時まで) ※ただし、4月14日(土)は開会式のため、観覧は午前10時から
休館日：毎週月曜日(ただし4月30日(月・祝)は開館、5月1日(火)は休館)
主催：愛知県陶磁美術館 共催：朝日新聞社 後援：愛知県教育委員会、愛知高速交通株式会社(リネオ)
観覧料：一般600円(480円)、高校・大学生500円(400円)、中学生以下無料(1日1人20名以上の団体料金)
*割引制度(各割引制度の詳細はできません) *メモ「瀬戸」(「愛・地球博記念公園」陶磁資料館内)「大草」各駅に設置の割引チラシ(リネオ利用者に限る) / リネオ「一日乗車券」名古屋市内交通局「一日乗車券」(225円) / フェリス学院「フェリスカード」(フェリスカード) / セラミウム「瀬戸市立陶磁器資料館」の半券(2ヶ月以内)を持参の方は観覧料が2割引きとなります。セラミウム等の割引制度またはJAF会員登録、「ユーロ・アドバンスト」パス(関西2018)掲載の割引券、「愛知ふるさと大使」の名刺を持参の方は観覧料が1割引きとなります。小身体等に障がいのある方がお越しの場合は事前にお知らせくださいと割引制度が適用(割引要件あり、詳しくは公式WEBサイトをご覧ください)されます。

加藤 良
加藤和三郎
亀井清市
河本千春
河本磯亭
栗木伎茶夫
小森 忍
鈴木清女
鈴木八郎
瀬戸作陶会
瀬戸陶家研究会



作品上から：
長江明治 瀬戸唐物文庫
1935(昭和10)年頃 愛知県美術館蔵
高島徳松 マット地木蓮文花瓶
大正時代(20世紀) 個人蔵
水野双鶴 葉形銘々皿
1947-48(昭和22-23)年 愛知県美術館蔵
加藤華仙 牡丹文碧瓷鉢
1946(昭和21)年 瀬戸市美術館蔵

瀬戸陶芸の黎明期は、大正期に日野厚を中心とした愛知県立陶器学校関係者などにより行われた図案研究、1913(大正2)年に始まる農商務省主催の展覧会への出品などが起点となり始まりました。

続いて大正期から昭和初期にかけて、研究を目的とした作家集団が続けて結成されます。この時、瀬戸を訪れ、若い作家たちに多大な影響を与えたのが「工芸は総合芸術である」との考えを提唱した工芸家・藤井達吉(1881-1964)でした。瀬戸の作家たちは、藤井との交流の中で芸術・工芸思想に触れ、創作の源泉であるスケッチの重要性を認識し、日々実践し、それぞれの制作へ取り組みました。

瀬戸の作家たちは、さらに多くの刺激を吸収し、1946(昭和21)年の加藤華仙による瀬戸初の日展特選受賞に象徴されるように、より多彩な活動を展開します。

本展では、大正期の図案研究から加藤華仙の日展初の特選受賞の頃までを中心に振り返り、特にこれまで公開されることが少なかった愛知県美術館所蔵の藤井達吉コレクションの陶磁器作品群を通じて、瀬戸の作家たちと藤井達吉との濃密な交流から生まれた意欲的な食器・作品制作、スケッチや図案に注目し、藤井自身の作品や図案もあわせて紹介し、瀬戸の創作陶芸の源流を辿ります。



栗木伎茶夫 瀬戸赤楽字文飾壺
1937(昭和12)年 瀬戸市美術館蔵



河本千春 御深井印花文鉢
1937(昭和12)年頃 愛知県美術館蔵



鈴木青々 葡萄文四方鉢 1940(昭和15)年頃 個人蔵



藤井達吉 櫛目前文皿
1935(昭和10)年
瀬戸市美術館蔵



大江文象 釉彩花鳥文大皿
1942(昭和17)年 愛知県陶磁美術館蔵



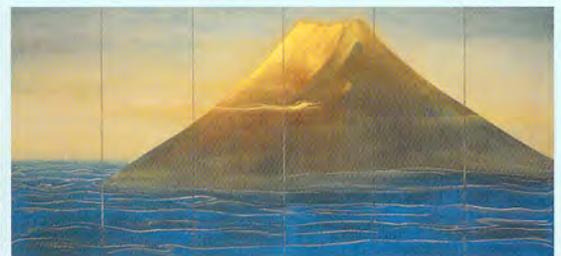
亀井清市 連翹文水指
1950(昭和25)年頃 愛知県美術館蔵



藤井達吉
切透七宝白鳳瑞雲文御手箱
1942(昭和17)年頃か
瀬戸市美術館蔵



藤井達吉 旭日瑞雲・不盡(富士)迎陽
1942(昭和17)年頃か 碧南市藤井達吉現代美術館蔵



会期中に一部展示替えを行います。詳しくは公式WEBサイトをご覧ください。

記念講演会「藤井達吉の芸術について」

日時：平成30年4月28日(土) 午後1時30分から3時まで
講師：木本文平氏(碧南市藤井達吉現代美術館長)
会場：本館地下1階講堂
参加無料、申込不要

記念対談「瀬戸陶芸の黎明期と作陶会」

日時：平成30年5月13日(日) 午後1時30分から3時まで
講師：亀井勝氏(陶芸家)、服部文孝氏(瀬戸市美術館長)
会場：本館地下1階講堂
参加無料、申込不要

座談会「やきものの技法から瀬戸を知る 練込技法 水野教雄」

日時：平成30年5月20日(日) 午後1時30分から3時30分まで
講師：水野教雄氏(陶芸家)
会場：陶芸館
定員20名(要事前申込、参加料240円)

担当学芸員によるギャラリートーク

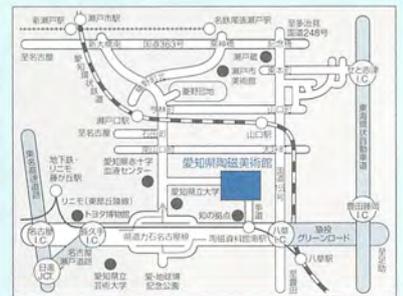
日時：4月15日(日)、29日(日)、5月4日(金・祝)、
6日(日)、27日(日)、6月10日(日)
いずれも午後1時30分から1時間程度
参加無料(本展観覧券が必要です)、申込不要
※各催事の詳細は公式WEBサイトでご確認ください。

次回展覧会のお知らせ

愛知県陶磁美術館開館40周年記念特別企画展
「知られざる古代の名陶 猿投窯」
6月30日(土)―8月26日(日)

[アクセス]

- 公共交通機関 地下鉄東山線終点「藤が丘」駅下車、リニモ「藤が丘」から「八草」行き「陶磁資料館南」駅下車、徒歩600m/名鉄瀬戸線終点「尾張瀬戸」駅下車、「瀬戸駅前」のりば1から名鉄バス「豊野団地」経由「愛・地球博記念公園」行き「陶磁美術館」下車(土・日・休日のみ)/愛知環状鉄道「八草」下車、リニモ「八草」から「藤が丘」行き「陶磁資料館南」駅下車、徒歩600m
- 自家用車(駐車場無料・250台収容・大型バス9台収容) 東名高速道路「日進IC」経由、名古屋瀬戸道路「長久手IC」から足助・瀬戸方面に約5km/東名高速道路「名古屋IC」・名二環道「本郷IC」から瀬戸・長久手・足助方面に約10km/東海環状自動車道「せと赤津IC」から約7km
- タクシー 地下鉄東山線・リニモ「藤が丘」駅から約20分/名鉄瀬戸線「尾張瀬戸」駅から約15分



■瀬戸市美術館 TEL:0561-84-1093

せとのフェスタ2018・瀬戸市美術館特別展
越中瀬戸焼一桃山から現代へー
4月14日(土)～6月10日(日)

■瀬戸蔵ミュージアム TEL:0561-97-1190

企画展「新出土品展―陶祖公園は窯盛り―」(仮称)
4月28日(土)～7月29日(日)

■瀬戸市新世紀工芸館 TEL:0561-97-1001

企画展「井上剛 谷口嘉一集散する光」
3月31日(土)～6月17日(日)

■瀬戸染付工芸館 TEL:0561-89-6001

企画展「山水の景色―瀬戸染付―」
3月28日(水)～6月25日(月)



愛知県陶磁美術館
セラミウム AICHI PREFECTURAL CERAMIC MUSEUM

〒489-0965 愛知県瀬戸市南山口町234
TEL:0561-84-7474 FAX:0561-84-4932
公式WEBサイト <http://www.pref.aichi.jp/touji>

割引引換券 100円割引

一般600円→500円 高大生500円→400円 中学生以下無料
本券1枚につき1名、上記割引料金でご観覧いただけます。他の割引との併用はできません。

割引引換券 100円割引

一般600円→500円 高大生500円→400円 中学生以下無料
本券1枚につき1名、上記割引料金でご観覧いただけます。他の割引との併用はできません。

割引引換券 100円割引

一般600円→500円 高大生500円→400円 中学生以下無料
本券1枚につき1名、上記割引料金でご観覧いただけます。他の割引との併用はできません。